

令和元年度

区民参画組織 麻布を語る会 第5回麻布地区政策分科会

議 事 要 旨

開催日時	令和元年9月12日(木) 18:30~20:30
開催場所	麻布地区総合支所 2階 第3会議室
参加者 (敬称略)	<b>【分科会メンバー：24名】</b> 相賀、大竹、鍵谷、加生、片岡、河又、北野、金原、小池、小島、古平、佐々木、佐藤、塩谷、城川、田中、堂園、橋本、藤本、堀山、峯崎、唯是、吉野、吉松 <b>【事務局：3名】</b> 鈴木(協働推進課長)、板橋(地区政策担当係長)、遠藤(協働推進係) <b>【説明者：4名】</b> 田代(管理係長)、中村(協働推進係長)、吉田(まちづくり課長)、川口(保健福祉係長)
概 要	1 開会 2 提言作成に向けたスケジュールについて 3 グループ討議(地域事業の評価及び検証) 4 全体討議(グループ討議の報告及び意見交換) 5 その他
配付資料	資料1 提言作成に向けたスケジュール(案) 資料2 地域事業活性化シート 参考資料 各地域事業についての主な意見
座長	<b>【会議経過】</b> <b>1 開会</b> 定刻となりましたので、第5回区民参画組織麻布を語る会 麻布地区政策分科会を開催します。本日の終了時刻は20時30分を予定しております。本日は記録のため、写真撮影や録音をさせていただきます。写真撮影に不都合がありましたら事務局の職員までお声がけください。また、会議中の発言は挙手、指名を原則とし、議題からそれた発言など議事進行の妨げとなる場合には発言を制止することもあります。円滑な議事運営にご協力をお願いします。 はじめに、事務局から本日の配布資料の確認をいたします。
事務局	(配布資料の確認)
座長 事務局	<b>2 提言作成に向けたスケジュールについて</b> 提言作成に向けたスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。資料1をご覧ください。前回の分科会では、各地域事業の課題等について、グループ討議をしていただきました。本日、第5回分科会では、資料2の「地域事業活性化シート」を使ってグループ討議を進めていきます。このシートは、9月5日に座長・副座長・リーダー・サブリーダーで内容と名称の検討を行いました。A3版左側、地域事業の「評価」と「検証」を本日の分科会で検討していただきますが、右側の部分については内容が決定していないため、見え消しの状態になっています。今後、グループ討議において、このシートを完成させることを目標に議論を進めてください。なお、ここに記載さ

れている質問については一例として、この質問に縛られずに、自由に議論を進めていただければと思います。また、各質問の右側に「1・3・5」と数字を記してあります。こちらは、質問に対して達成度が低いものを「1」、達成度が高いものを「5」として評価をしてください。

座長

今回、お示ししているスケジュールは、検討の進捗状況により変更することもありますので、現時点でのスケジュールとしてご承知おきください。

ここまでの事務局からの説明について、ご質問、ご意見等ございますか。各グループのリーダー等は、先日の打合せで進め方について承知しておりますので、不明な点がでてきたらグループ討議の中でご確認ください。

### 3 グループ討議（地域事業の評価及び検証）

座長

次に、グループ討議に移ります。各グループでの議論については、20時を目途に、こちらの第3会議室に再度集合できるよう進めてください。分野ごとに出た意見を発表していただき、全体で共有します。

また、発表は、交代でいろいろな方に経験していただくようお願いします。

「分野Ⅰ かがやくまち」「分野Ⅱ にぎわうまち」「分野Ⅲ はぐくむまち」の3グループに分かれ討議

### 4 全体討議（グループ討議の報告及び意見交換）

座長  
A委員

分野Ⅰから順に、本日の検討結果を発表していただきます。

分野Ⅰは、今回は「六本木安全安心プロジェクト」と「みんなでエコっとプロジェクト」について検討しました。

まず、「六本木安全安心プロジェクト」の評価について2つの観点から検証しました。1つはプロモーション、「ゼロ」というシンボルマークが浸透しているのかどうか、効果があるのかどうか。もう1つは実行フェーズ、パトロールやキャンペーン活動について効果があるのかどうか。

プロモーションについて、シンボルマークの認知度が低いのではないか。また、「ゼロ」というマークを見て、自分の行動を変えようという気にはならないのではないか。以上の検討結果から、提言の方向性として、デザインの再検証を行うべきではないかと考えています。

もう1点、実行フェーズについてです。夜になると、六本木交差点等にパトロールの方々が立っていますが、私たちが課題としている路上喫煙や自転車の違法駐輪や危険な走行などが解決されているかということ、解決されていない。検討の結果、プロモーションと同様に実行フェーズについても不十分と判断しました。したがって、しっかりと予算をつけて実証実験を行うことを提案します。具体的には、半年から一年という期間を設けて、六本木交差点を中心とした外苑東通り沿いで徹底した取り締まり活動を警察とも連携して行い、啓蒙していく。もし、それでも効果がない場合には、過料についても検討することを提言したいと考えています。また、取り締まりだけでは改善されない部分もあると思うので、今後も来街者が増えることが見込まれる中で、喫煙スペースを増やす等の対応も提言に含めて検討したいと思います。

次に「みんなでエコっとプロジェクト」について検証しました。まず、募集人数に対しての参加率は毎回非常に高く、抽選を行うこともあり、非常に人気のある事業なので、今後も継続して実施していくべきだと考えます。1

点、追加の提案として、事業名称にもある「エコ」の部分、先ほど発表した「六本木安全安心プロジェクト」にもつなげていく取組として、六本木のまちを綺麗にしていく活動内容、具体的なコンテンツとして、ごみ拾いを行ってみてはどうかということも提言に入れていきたいと思っています。ただのごみ拾いではなかなか参加者も集まらず、何らかのインセンティブが働かないといけないと思いますので、多くの企業が立地しているという六本木の特徴を活かし、企業からの協賛を得て、ノベルティ等を出していただき、子どもたちが喜んで参加できるシステムをつくって、より大々的に事業を行っていけるといいなということも提言に含めていきたいと思っております。

## B 委員

本日は、分野Ⅱの3事業について検討しました。初めに、次世代のコミュニティリーダーを育成するという事で年間6回の講座を行っている「ミナヨク」は、町会・自治会を担う人材が高齢化している中で麻布地区にふさわしい事業ではあるとの意見で一致しました。しかし、目的に向かってこの事業が機能しているかということになると、まだまだ不足、見直しが必要という評価をしています。1年間の講座が終わり、その後、修了生が実際に地域で活躍しているかどうかの検証が難しいという費用対効果についての課題がありますが、解決策として、既存の町会・自治会とのマッチングを積極的に行っていくようにする、修了生が活躍できる場として新しいコミュニティをつくるというのもいいのではないかとの意見が出ました。また、目的として挙げられているコミュニティリーダーというのはハードルが高いので、リーダーだけではなく、地域の活動等に参加し、サポートするコミュニティサポーターを育成するというでもいいのではないかとの意見もでました。

次回は、今回出てきた意見を基に提言としてまとめていく予定です。

次に「AZABU WORLD FESTA」は、昨年度から実施している事業で、麻布地区の街中をフィールドとした誰でも参加できるカードラリーを行っています。麻布地区の国際色豊かな店舗をいろいろまわったり、イベントを行って交流の場をつくることは良いと思いますが、支援部で類似事業が開催されていることや協力店舗の負担等の課題もあり、盛り上がりには欠けたイベントとなっているのが現状です。この事業は、麻布地区の文化祭という感じで、事業名称は変更し、飲食だけでなく日本の文化・海外の文化を活用するという事に注力し、地域の学生や他の地域事業に参画する方々の活躍の場ともなるイベントとして再構築してもいいのではという意見がでました。

昨年度のカードラリーが盛り上がりなかった理由の一つにマンパワー不足ということが挙げられると思います。先ほど「ミナヨク」での課題として参加者が講座修了後に活躍の場がないということがありましたが、「ミナヨク」の講座の内容、一年間の目標をこの事業の企画と連動して、機能的につなげればどちらも良くなるのではということで、次回以降は、麻布地区のいろいろな魅力を活用しつつ、他事業の課題も解決できるイベントを考えていくという方向性で検討していくこととしました。「麻布未来写真館」のパネル展等も、このイベントの中で盛り上げられるのではないかとの意見もありました。

次に「麻布未来写真館」については、麻布地区に関する古い写真と今の写真を比較したパネル展を開催する等、ある程度確立されている事業であり、評価としてもかなり高く、継続していくべき事業ではないかと考えています。課題として、古い写真がなかなか集まっていないのではないかとということで、麻布地区に昔からある店舗・事業所等を直接訪問して呼びかけたり、「地域

サロン～ちょこっと立ち寄りカフェ～」の事業やいきいきプラザ等、高齢者が集まる場所で写真を募集してみてもどうかとの意見がありました。また、パネル展の開催自体を知らない人がいるという点については、毎回出ている課題ではありますが、広報の場所、開催場所の検討をして改善していけば、もっと盛り上がっていくのではという意見がありました。

C 委員

分野Ⅲは、今回は「地方交流事業」と「地域サロン～ちょこっと立ち寄りカフェ～」について検討しました。

「地方交流事業」は4つのことを中心に話しました。1つ目は予算についてです。現在の交流先は山形県舟形町と埼玉県小鹿野町ですが、小鹿野町との交流事業の予算は「AZABU WORLD FESTA」から出ており、これはおかしいという意見がでました。小鹿野町との交流は、昨年度からスタートしましたが計画の当初予算を計上する際にはまだ予定になかったため、現状では「AZABU WORLD FESTA」の予算で展開しているとのこと。今後は「地方交流事業」として予算を組んでいくということなので様子を見ていこうかと思えます。

2つ目は、舟形町との交流についての予算は前回までの検討で納得しましたが、事業の認知度が非常に低いということ、SNS等どのように検索すればこの事業の情報にたどり着くのが分からないという意見がありました。また、4,000枚ちらしを刷っていますが、費用体効果について疑問があります。

3つ目は、交流にあたっての温度差について、麻布地区からサマースクールで舟形町を訪れるということに対して、舟形町からのフィードバックももっと欲しいとの意見がありました。

4つ目は、麻布地区がなぜ舟形町と交流をしているのかという点について、色々な疑問が残ります。舟形町以外との交流もすべきではないかという意見が前回の提言にありました。舟形町との交流の理由としては、港区と舟形町との間で包括的な協定が締結されていることが挙げられますが、だとしたら、サマースクールという切り口で本当に良いのか、もっと親密な付き合い、ご近所同士という感覚の交流が必要なのではないかという意見もありました。サマースクールですとそれだけで終わってしまうので、その後、どのようにつながりを深めていくのが課題だと考えています。

まとめとして、広報についてのアイディアは先ほども話したとおりです。温度差の解消としては舟形町からのフィードバックが必要になるということと、参加者は、包括的な協定を結んでいるのであれば、親子だけでなく他の形も考える必要があると思います。個人個人のつながりというだけでなく、お隣同士な感覚のつながりになるためにはどのようなことが必要かということ意識して、今後、提言を作成していきたいと思えます。

D 委員

「地域サロン～ちょこっと立ち寄りカフェ～」は、参加者も伸びているとのこと。実際に参加してきて感じたことを一言で表すと「シニアの方がこんなに楽しめる場がこんなところにあったのか!!」ということ。私が見学した時は約16人の参加者の中、男性は1人。70歳代から80歳代の方々が参加しており、いきいきと楽しんでいました。この事業を運営している事業者は、麻布子ども中高生プラザとも連携しつつイベントを企画しています。実際に参加するまでは、どのようなことをやっているのだろうという疑問も多くありましたが、いろいろな点でよくやっているという印象で、この事業については今後も伸ばしていく必要があると感じました。

また、地域で孤立している高齢者をいかに呼び集めるかということも目的

としている中で、麻布地区に多くいる孤立している高齢者の数に対して、現在使用している部屋の大きさが限られている点は課題かと思うので、今後の規模感や数値目標も拡大して考えていくほうが良いと考えています。

今回、この事業の運営事業者の事務局長さんにも詳しくお話を伺い、地域のNPOとの連携による企画を立てる等、いろいろよくやられていると感じました。また、企画をさらに工夫すれば男性の参加者は増えるだろうし、参加者間のコミュニケーションも活性化されるということも実感しました。男性の参加者が少ないことの改善案として、図書館で開催する等、場所の問題も含め、男性が参加しやすい企画があれば、私自身も子どもと一緒に参加したいという雰囲気がありましたので、この事業についてはとても可能性を感じるというのが、分野Ⅲのメンバー全員の一致した意見です。

最後に、高齢者に限らず、誰でも参加できる事業として、分野を越境して連携、拡大していくという展開もあるのではないのでしょうか。また、行政でこのような企画をして、民間も巻き込んで拡大していくことに意味があると思いますので、それがうまく機能していけばと考えています。

実際に事業に参加して見方が変わる面もありますので、皆さんも事業に参加してみることで、いろいろな連携のアイデアが出てくると思います。

座長 ありがとうございます。各分野の発表についてご質問等ございますか。質問等なければ、事務局から連絡事項等をお願いします。

## 5 その他

事務局

①次回（第6回分科会）の日時及び内容の確認

- ・日時 10月11日（金）18：30から20：30まで
- ・場所 麻布地区総合支所2階第3会議室
- ・内容：事業の提案、進捗によって引き続き事業の評価と検証

②直近の地域事業等

- ・後日配布の参考資料のとおり

座長

事務局連絡について、ご不明な点、ご質問等はございますか。

委員E

直近の地域事業等のスケジュールは、口頭での説明ではメモしきれなかったもので、事業名と開催日時等をまとめ、参考資料として示していただけますか。我々の参画意識もより一層高まるのではないかと思います。

座長

直近の地域事業の開催予定は、後日事務局から参考資料として送付します。皆さんの中で、グループ討議でのご意見のほかに、別途提案したいアイデアがある方はいらっしゃいますか。個別のご提案に対しても検討をしていきたいと考えておりますので、私に申し出ていただければと思います。

最後に副座長から総括をお願いします。

副座長

回を重ねるごとに議論が活発になっており、最後のプレゼンテーションもとても分かりやすく、良い分科会活動になってきていると思います。他の事業との統合的な協力体制についても各グループでご意見が出てきているようなので、他分野・他事業との連携について議論をできる場も持てれば良いと思っています。引き続きよろしくをお願いします。

座長

第5回麻布地区政策分科会を終了します。本日はお疲れさまでした。

以上